

# 令和5年度 事業報告書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

## 【概要】

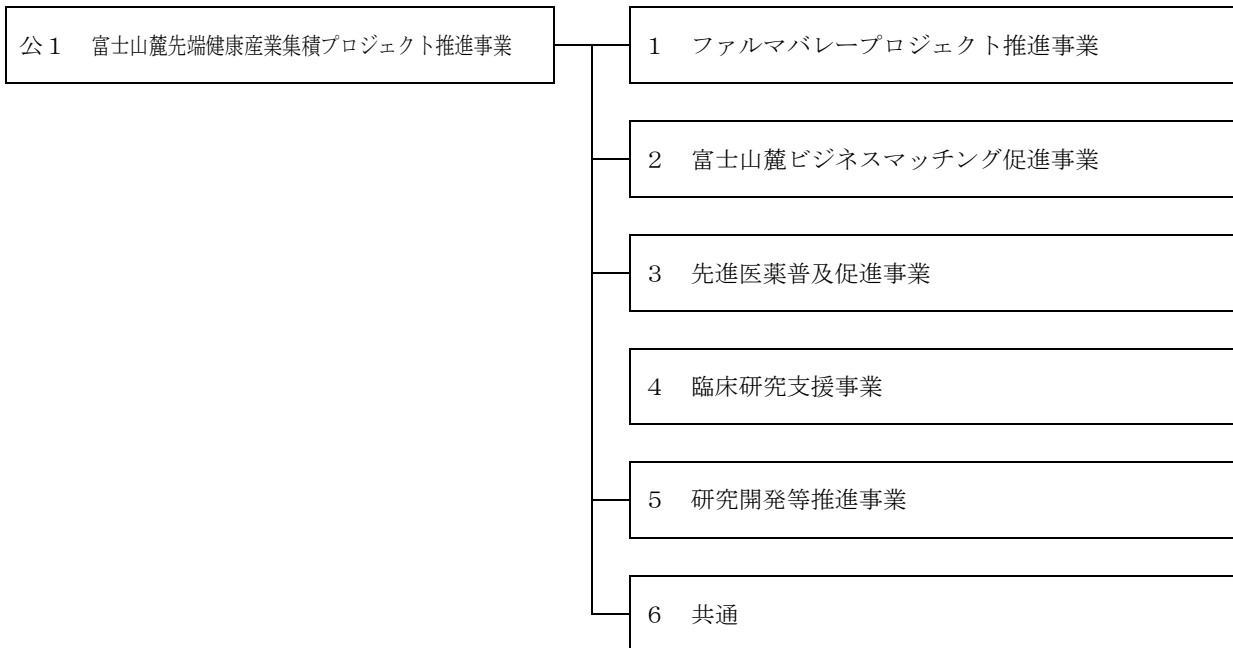
当機構は、静岡県が進めるファルマバレープロジェクトを推進し、医療機関を中心として医療健康産業が集積する医療城下町の創生を図り、もって世界一の健康長寿県の形成及び地域経済の発展に寄与することを目的に、専門性の高い事業を機動的に行うことができる法人として設立された。

令和5年度は、ニーズ収集をお願いしている医療機関を拡充するなど、医療現場のニーズに基づく医療機器等の開発支援を強化するとともに、静岡県が令和5年7月に策定した「医療田園都市構想」の実現に向け、行動計画の検討や介護・福祉関連機器の開発支援、「自立のための3歩の住まい」の社会実装化に向けた首都圏展示会への出展などに取り組んだ。

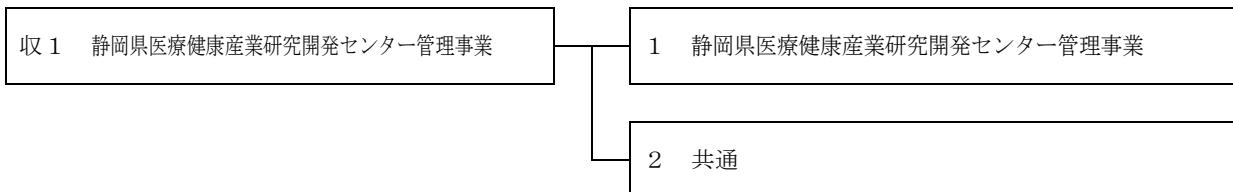
また、コロナ禍が明けたことから、連携する山梨県との共同事業はもとより、海外との広域連携も視野にタイ・スイス等の視察も積極的に受け入れるなど、プロジェクトを推進した。

## 【令和5年度事業体系図】

### 1 公益事業



### 2 収益事業



※各事業へ配賦することが困難な費用は、公益事業並びに収益事業に関する会計の中で「共通」の会計区分を設けて管理

## 公益事業

### 公1 富士山麓先端健康産業集積プロジェクト推進事業

県が策定したファルマバレープロジェクト第4次戦略計画に基づき、産学官金、医看工連携による画期的な診断・治療法、医療機器等の開発による新産業の創出と人材育成を図り、健康増進・疾病克服と地域経済の活性化につなげるため各事業を実施した。

#### 1 ファルマバレープロジェクト推進事業

コーディネーターを活用した共同研究や医看工連携による研究開発を推進するほか、センター主催の展示会や医療機器等開発テーマ実現化のための検討会議等を開催し、産学官金の交流、企業の事業化・製品化を支援した。また、ファルマバレーセンターの製品開発支援のノウハウや、静岡がんセンターの蓄積された経験等を生かし、超高齢社会における健康長寿・自立支援を重点テーマとして取り組んだ。

この結果、令和5年度のファルマバレープロジェクトの製品化件数は13件、産業人材育成人数は117名となり、概ね第4次戦略計画の当年度目標値（製品化件数14件、産業人材育成人数43名）を達成できたと評価している。

##### (1) 産学官金ネットワーク形成

①産学官金ネットワーク形成のための産業支援ネットワーク会議や交流会を開催した。

開催日	内 容
5月17日	会議開催趣旨等説明、参加者自己紹介、医療田園都市構想概要説明、QMS相談会開催（情報提供）ほか
7月19日	働く場の魅力発信プロジェクト、中小企業ロボット導入促進事業について（静岡県）ほか
9月21日	「ICOIプロジェクト」の取り組みについて（静岡県）、3歩の住まい進捗状況について（PVC）ほか
11月24日	災害発生時の帰宅困難者対策、ガストロノミーツーリズムの取り組みについて（静岡県）、ふじのくに先端医療総合特区の利子補給制度、医療・介護福祉機器展 富士山麓産学官金連携フォーラム2023について（PVC）ほか
1月17日	経済産業省関東経済産業局の中小企業支援施策等について（関東経済産業局、NEDO）ほか
3月21日	知的財産権セミナー（施設部）併催、関東経済産業局知財部からの情報提供ほか

②大学・企業等情報収集のための訪問調査等を実施した。

区 分	件 数	区 分	件 数
企業	448 件	市役所・町役場	41 件
大学	38 件	国、県関係	22 件
病院	65 件	業界団体・支援機関等	36 件
研究機関	8 件	その他	190 件
商工会議所・商工会	9 件	合計 (※)	857 件

(※) うちPVP参画 12 市町管内 424 件

(2) 新産業・新事業シーズ創出

①医療・介護現場のニーズを製品化に結び付けるため、医療機器等開発テーマ実現化のための検討会を開催した。 第一回6月9日、第二回7月13日、第三回8月1日、第四回9月11日、計4回実施

②医療機器等の製品化における技術的課題解決のための可能性調査（試作等）を行った。

開発テーマ	委託先	委託費
嚥下能力を予測するためのノギスの開発	やまと興業(株)	820 千円
簡易電子聴診器の開発	やまと興業(株)	950 千円
血漿ナトリウム値の高精度予測プログラム・アプリの開発	(株)計算機理学研究所	984 千円
自己抜管予防シーネの開発	(株)メディカルプロジェクト	512.4 千円
術後病衣の開発	山本被服(株)	450 千円
中心静脈栄養剤の組成オーダーリンク支援システムの開発	沼津工業高等専門学校	834 千円
温泉用の入浴杖の開発	アポロメーカー(株)	440 千円

(3) 医療機器開発助成

・県内企業連携による研究開発成果の早期実用化のための助成を行った。

応募：4件（うち2件2年枠） 採択：4件 中止：1件 審査会：6月19日

事業テーマ	企業名	交付決定額
蛍光測定に基づく内視鏡消毒剤の高精度な濃度定量システムの開発	(株)アマノ (2年枠)	3,000 千円
神経外科用ロボットによる模擬手術用の動体ファントム・内視鏡・ドリル・鉗子の整備	(株)しずロボ (2年枠)	2,420 千円
仰臥位・側臥位の手術等に貢献する枕の開発	浜口ウレタン(株)	3,000 千円

#### (4) 研究開発支援

- ・医薬品医療機器等法に関する相談などに対し、アドバイザーによる助言を行った。

開催日	件数および所在地	開催日	件数および所在地
4月24日	2社 (沼津市、富士宮市)	11月28日	1社 (沼津市・長泉町)
5月23日	1社 (浜松市)	12月26日	2社 (県外(大学)、富士宮市)
6月27日	1社 (富士宮市)	1月23日	1社 (長泉町)
7月27日	1社 (富士宮市・長泉町)	2月27日	1社 (富士宮市)
8月25日	1社 (富士市)	3月19日	1社 (静岡市清水区)
9月26日	1社 (富士市)	合計	13社

#### (5) 医療健康関連産業人材育成

- ①地域企業の有する高い技術力と研究開発成果を新事業・新産業の創出に結びつけるための講座を開催した。

開催日	概要
9月27日	受講者：27名 講師：東京富士大学経営学部 隅田浩司氏 ・事業構想力とは／視点獲得能力とは ・分析のフレームワーク (SWOT分析、5フォース等) ・思考のワナ・クセ／グループダイナミクス ・ビジネス交渉学 (対話と会話、BATNAなど) ・SDGsと経営／アフターコロナの経営 ほか
10月4日	
10月11日	
10月18日	
11月1日	
11月15日	
11月20日	

②医療機器開発においてリーダーとなりうる人材の育成をするためのセミナー、現場観察、及びワークショップを開催した。参加者7社13名。

ア) セミナー

開催日	内 容
11月14日	ブートキャンプ（バイオデザイン手法を駆け足で） 講 師：八 木 雅 和 氏（大阪大学大学院准教授） 田 上 未 来 氏（大阪大学大学院）

イ) 現場観察

開催日	内 容
12月3日	ニーズ探索・現場観察の実際を学ぶ 視察先：浜松リハビリテーション病院 ・病院オリエンテーション ・現場見学 ①機器を使ったりリハビリテーション ②PT・OT・STリハビリ現場 ③入院病棟・配膳・患者送迎 ・インタビュー実習：不明点等の質問 ・グループ・ワーク ほか

ウ) ワークショップ

開催日	内 容
12月19日	ニーズ仕様書を作成する ・ニーズステートメント・ニーズクライテリアの選択 ・ニーズステートメントの修正、ニーズクライテリアの修正 ・ニーズの仕様書の完成、ニーズの仕様書の発表
12月20日	コンセプトを作成する ・ニーズの仕様書の見直し ・Ideation（15/HMW5min, ブレスト10min*2set, 選択5min） ・コンセプトマップの生成と評価 ・コンセプトのレビュー ・コンセプト評価の見直し ・プロトタイプ作成 ・コンセプト評価とプロトタイプへのグループレビュー グループ1テーマ：ファインオートベッド （運動機能に障害のある患者が一人で座位姿勢を取れる） グループ2テーマ：入浴（タイミング）チェッカー （身体の汚れ具合を判定し最適な入浴タイミングを知る） 講 評：池 野 文 昭 氏（スタンフォード大学）

(6) 医療田園都市構想の推進

医療城下町を基盤に、超高齢社会において住民が安心して暮らせる理想郷として、医療田園都市の構築実現を目指すため、県が策定した「医療田園都市構想」の情報発信や高齢者が安全・安心に生活できる居室「自立のための3歩の住まい」の提案による健康長寿・自立支援プロジェクトの推進に取り組んだ。

①医療田園都市構想

静岡県が令和5年7月に策定した「医療田園都市構想」の情報発信を行うとともに、モデル地域としている東部12市町への具体的行動計画を検討した。

ア) 情報発信

	実施日	内 容
1	令和6年3月2日	静岡がん会議
2	令和6年3月12日	ファルマバレープロジェクト東京セミナー
3	令和6年3月22日	静岡新聞 「風は東から」

②健康長寿・自立支援プロジェクト

ア) 自立支援機器開発のための助成を行った。

応募：3件 採 択：3件 審査会：6月15日

事業テーマ	企業名	交付決定額
座位姿勢を保つ簡易装着型バックシートとアームシート	橋本エンジニアリング(株)	1,856千円
要介護高齢者・重度障害者向けのマイクロバブル対応浴槽の開発	(株)トマト	3,000千円
高齢者施設向けナースコール・見守りシステムに利用させる、iOSスマートホンのアプリケーション開発	(株) i S E E D	3,000千円

イ) 「自立のための3歩の住まい」の社会実装化に向けて広報PRを行った。

・展示会

開催日	イベント名	場所
10月28日～29日	メディアメッセージ2023	アクトシティ浜松
3月12日～14日	CareTEX 東京	東京ビッグサイト

・標準設計マニュアルの増刷

増刷数：1,000冊 ※令和4年度印刷分(2,000冊)配布完了のため

ウ) モデルルームの整備、情報発信を行った。

- ・令和5年度モデルルーム見学者 365名（参考：令和4年度310名）
- ・SBSマイホームセンター SBSリフォームプラザ ブース出展 10/1～3/31
- ・同プラザイベント「未来のための暮らしセミナー」にてプレゼン 1月14日
- ・同プラザイベント「未来の暮らしを考えるためのセミナー」にてプレゼン 3月3日
- ・プリファードロボティクス社製 家庭用自律移動ロボット「カチャカ」設置
- ・サウンドアイ社（シンガポール）製 転倒・離床検知システム「LASSO」設置

エ) 生活支援ロボット開発促進のための研究会等を開催した。

開催日	内 容
12月13日	①講演『『共同教育』によるロボット開発] 講師：青木悠祐氏 (沼津工業高等専門学校 電子制御工学科 准教授) ②会員企業発表 ・ジヤトコ株式会社 ・トヨタ自動車株式会社
1月13日	沼津高専自立移動ロボット（MIRS）成果発表見学

オ) モデルルームで活用可能な核心的製品の試作を行った。

委託先	試作テーマ	委託金額
㈱メタテクノ	歩行姿勢から疾病の予測・予防をする住まい	4,818千円

## (7) 広報・販路開拓

ファルマバレープロジェクトや健康長寿・自立支援プロジェクトの取組を広く発信するため、パンフレットやホームページなどの媒体に加え、ニュースレターを作成するなど情報発信を行った。

- ①ニュースレターVo. 131を令和5年11月に発行。プロジェクト参画企業等へ配付。
- ②静岡新聞全県版「風は東から」（再掲）
- ③各種展示会へ出展し、販路開拓、ネットワークの拡大、プロジェクトの広報等を図った。

開催日	展示会等	場所
4月19日～21日	MedtecJapan2023	東京ビッグサイト
11月2日～3日	沼津産業フェア（市制100周年事業）	プラサヴェルデ
12月1日	Made in Mt. Fuji ふじのくに医療介護福祉機器展 ～富士山麓産学官金連携フォーラム2023～	プラサヴェルデ

(8) 広域連携

山梨県等との連携を推進した。

①静岡・山梨両県企業とメディカルショージャパン共同出展

開催日	場所	出展企業
6月29日～7月1日	パシフィコ横浜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県企業4社            大一紙工(株)、しずロボ(株)、            東海部品工業(株)、(株)テクノサイエンス</li> <li>・山梨県企業12社</li> </ul>

②静岡・山梨両県企業と首都圏企業・大学等とのニーズ・シーズマッチング会

開催日・場所	概要
2月28日 御茶ノ水ソラシティ	13:00～17:00 展示・商談会 (シティホール) 静岡、山梨、首都圏企業ほか、全国支援機関、大学連携窓口等 14:00～17:00 基調講演、ニーズ発表 (テラスルーム) 基調講演講師：妙中義之氏 ニーズ発表：東京女子医科大、順天堂大
2月29日 御茶ノ水ソラシティ	10:00～17:00 展示・商談会 (シティホール) 静岡、山梨、首都圏企業ほか、全国支援機関、大学連携窓口等 10:00～12:00 ワークショップ (テラスルーム) 医療機器の構造を理解しよう 13:00～17:00 スタートアップ企業マッチング (株)Cog Smart、(株)メタジェン、 メタジェンセラピューティクス(株)、(株)レイヤード、 (株)MEDEMI L、エイターリンク(株)

③静岡・山梨両県企業相互見学会

開催日	見学先企業	参加企業 (申込順)
11月7日 (静岡→山梨)	シチズンファインデバイス(株) (河口湖町)	7社 (株)吉田製作所 タキゲン製造(株) (株)ナカハラ (株)フカサワ (株)シングウ技研 伊豆技研工業(株) 東海部品工業(株)
2月2日 (山梨→静岡)	(株)フカサワ (長泉町)	7社 藤精機(株) 山陽精工(株) (株)富士エス・エル・アイ (株)アルテック アイドラス(株) 長田電材工業(株) (株)スワ

④院内展示会

開催日	医療機関	参加企業
3月14日	藤枝市立総合病院	静岡 11 社 タキゲン製造(株) (株)テクノサイエンス (株)平和テクノシステム (株) i S E E D 日商産業(株) (株)アプト・マシナリー (株)トライテック (株)丸井商事 (株)メディカルプロジェクト (株)平垣製作所 (株)しずロボ 山梨 5 社 アイドラス(株) シモレックス(株) 山陽精工(株) (株)エスワイ精機 (株)細田

⑤県外医療機器製造販売企業ニーズ調査

・有効回答数：154社／797社（有効回答率19.3%）

解 答 例：製品の開発や製造・調達などでの困りごと

内 容	%	内 容	%
部材の調達やコスト	37.0	自動化・省人化	5.2
試作の連携先	14.9	社内教育	12.3
開発委託先（パートナー）	16.2	特になし	33.8
外注加工先（部品加工）	19.5	その他	9.7
製造委託先（OEM）	11.0		

(9) 創薬探索研究

静岡県立大学や静岡県環境衛生科学研究所等と連携し、静岡発の創薬を目指し、創薬探索研究を推進した。

①創薬探索研究活動

- ・静岡化合物ライブラリー（122,509化合物）について全国のアカデミアへの提供を可能にするため、静岡県立大学創薬探索センターのみへ提供する当初の契約を見直し、すべての化合物寄託者との契約を変更した。
- ・提供先（7件（大学5件、研究所2件）のうち1件は腫瘍をターゲットとした探索を続けていたが、複数のヒット化合物を見出したため、類縁体合成などの協力が可能となる共同研究契約を締結した。
- ・A研究所と「低分子抗がん剤」の探索を進め、新規ターゲットに対する阻害効果を確認した。

- ・静岡県内外の創薬探索に携わる研究者と共同研究を進めた。(継続中8件(大学8))
- ・BioJapan2023(10月11日～13日)で静岡化合物ライブラリー、プロジェクトHOPEを中心とした静岡がんセンターの研究活動について情報発信するとともに、開発に向け企業の協力が必要となるテーマについて企業担当者(9社)と面談を行った。
- ・創薬探索助言委員会を開催し、専門家から事業活動の活性化に向けて、助言・意見を聞いた。(2月29日)

## ②創薬探索研究委託

- ・静岡県立大学創薬探索センター及び静岡県環境衛生科学研究所へ医薬品シーズの可能性検討や管理を委託した。
- ・A大学とB研究所との共同研究については中間報告会の橋渡しを行ったところ、腫瘍阻害剤の単剤での腫瘍抑制効果の確認が報告されたため、今後は開発に向けてさらなる薬効データの蓄積と充実を図っていく。

## 2 富士山麓ビジネスマッチング促進事業

産学官金連携等から創出される製品化シーズと地域企業の技術とのビジネスマッチングを支援した。

### (1) 専門講座の開催

- ・医療機器ビジネス参入セミナーの開催 受講者：55名

開催日	概要
2月21日	海外展示会の活用方法と現在のトレンド 講師：オフィス長谷川代表 長谷川 友紀 氏
	サイバーセキュリティ 講師：テュフズードジャパン 大内 功 氏
	医療健康産業の業界最新情報と開発から販売まで 講師：GEヘルスケアジャパン 大竹 正規 氏

### (2) 技術シーズ情報の収集

- ・ふじのくにの宝物改訂(2,000冊、掲載604社)

### (3) マッチングセッションの開催

- ・展示会を開催し、ビジネスマッチングの機会を提供した。

開催日	概要
12月2日	Made in Mt. Fuji ふじのくに医療・介護福祉機器展 ～富士山麓産学官金連携フォーラム2023～ 出展数：70社 来場者：約600名 総面談数：799件

(4) 企業訪問、事業化等の各種支援

- ・コーディネーターの企業訪問による情報収集やビジネスマッチングにより、事業化に向けた支援を行った。

月	件数	月	件数	月	件数	月	件数	
4月	49	7月	34	10月	28	1月	22	
5月	32	8月	24	11月	26	2月	33	
6月	39	9月	22	12月	30	3月	26	
							合計	365

### 3 先進医薬普及促進事業

先進医薬の普及促進及び医療の質の向上のため、静岡県治験ネットワークを運営し、支援倫理委員会部会の運営や教育研修などを通じて、ネットワーク病院の治験や臨床研究を支援した結果、5試験の委受託契約締結・4試験の病院選定調査により新規に延べ2病院での治験開始や認定CRC2名合格などの成果につながった。

(1) 治験ネットワーク (NW) の運営

① 推進部会

開催日	会議名	内容	会場
6月27日	推進部会（全体会議）	活動内容、事業実績等の協議	Web形式

② 支援倫理委員会部会の開催

開催日	会議名	会場
6月14日	IRB委員等研修部会	Web形式
8月2日	IRB委員等研修部会	Web形式
10月2日	IRB委員等研修部会	Web形式
11月1日	IRB委員等研修部会	Web形式
12月4日	IRB委員等研修部会	Web形式
1月25日	IRB委員等研修部会	Web形式
2月22日	IRB委員等研修部会	Web形式
3月25日	IRB委員等研修部会	Web形式

③ 治験実施の相談、受託支援（平成15年から延べ）

相談：57社 201プロトコール

支援契約：41社 142プロトコール（内、令和5年度4社、5プロトコール）

## (2) 教育研修

### ①教育研修ワーキンググループ

開催日	内容	出席者	会場
4月24日	教育研修事業検討	8名	Web形式
6月22日	教育研修事業検討	8名	Web形式
1月25日	教育研修事業検討	6名	Web形式
3月5日	教育研修事業検討	7名	Web形式

### ②研修会等

開催日	研修名	出席者	会場
7月1日	スキルアップ研修	31名	Web形式
9月2日	認定CRC養成準備講座	7名	ハイブリッド形式
1月20日	西部CRCの会	50名	遠州病院
1月27日	アドバンスセミナー	120名	ハイブリッド形式

## (3) NW病院の臨床研究の推進

ネットワークにおける臨床研究の活性化を目的として、平成29年度から臨床研究検討ワーキンググループを中心に臨床研究についての検討を進めている。現在3試験の実施に至っており、令和5年度は4試験目（PVC-studyIV）を開始した。

### ①臨床研究検討ワーキンググループ

開催日	内容	出席者	会場
5月25日	PVC-studyIV第1回プロトコール検討会	12名	Web形式
6月29日	PVC-studyIV第2回プロトコール検討会	12名	Web形式
7月27日	PVC-studyIV第3回プロトコール検討会	12名	Web形式
9月1日	PVC-studyIV第4回プロトコール検討会	12名	Web形式

### ②各試験の進捗状況

- ・PVC-studyII：2月16日「BMC Cancer」掲載
- ・PVC-studyIII：10月19日癌治療学会にて発表

## (4) 県民への治験啓発活動

ネットワーク病院を通して、治験普及啓発用資材（ボールペン、クリアファイル等）を活用した啓発活動を行った。

#### 4 臨床研究推進事業

静岡がんセンターや地域がん診療連携拠点病院等と連携し、がん領域の治療・臨床研究を推進した。

##### (1) 静岡がん治験ネットワーク推進

①多施設共同臨床試験Ⅱの実施（市販薬による抗がん剤使用時の副作用軽減効果の検証）

参加医療機関：18医療機関（県内11機関・県外7機関）

②多施設共同臨床試験Ⅲの実施（がん患者における合併症発生割合の検証）

参加医療機関：10医療機関（県内10機関）

③多施設共同臨床試験Ⅳの実施（固形がん患者における心血管系イベントに関する多施設共同前向き観察研究（SCOPE試験））

参加医療機関：7医療機関（県内7機関）

④新規試験のテーマ募集開始

##### (2) 臨床研究推進

医療技術の進歩に寄与する先進医療の開発促進、エビデンスの確立等を図るため、静岡県治験ネットワーク登録医療機関に所属する研究者が主体となって計画、実施する臨床研究の運営を支援した。

試験名	研究内容	使用薬剤	実施期間
JASPAC01	市販されている抗がん剤（膵がん）に関する多施設共同臨床研究	塩酸ゲムシタビン S-1	平成18年度 ～
JIPANG	市販されている抗がん剤（肺がん）に関する多施設共同臨床研究	シスプラチン ビノレルビン ペメトレキセド	平成23年度 ～
JASPAC04	市販されている抗がん剤（膵がん）に関する多施設共同臨床研究	塩酸ゲムシタビン S-1	平成23年度 ～
JASPAC06	市販されている抗がん剤（膵がん）に関する多施設共同臨床研究	オキサリプラチン イリノテカン フルオロウラシル レボホリナートカルシウム	平成26年度 ～
EXPECT-study	市販の抗がん剤（乳がん）の多施設共同臨床研究	エリブリン	平成27年度 ～
MODURATE	市販の抗がん剤（大腸がん）の多施設共同臨床研究	イリノテカン ベバシズマブ TAS-102	平成28年度 ～
OPERA02	舌再建術後の機能に関する多施設共同臨床研究	なし	平成29年度 ～
TRI-BE	市販の抗がん剤（乳がん）の多施設共同臨床研究	Paclitaxel Bevacizumab	令和2年度 ～
ネオアンチゲン	再発固形がんの免疫療法に関する臨床研究	樹状細胞ワクチン	令和5年度 ～

### (3) 治験審査委員会運営事業

平成22年度から静岡がんセンターが設置している企業治験倫理審査委員会の運営を受託した。

治験審査委員会（月1回程度開催）

回数	開催日	会場	新規審査	継続審査	変更審査
1	4月22日	Web会議方式	4件	227件	55件
2	5月18日	Web会議方式	5件	137件	47件
3	6月15日	Web会議方式	5件	168件	44件
4	7月20日	Web会議方式	4件	228件	72件
5	8月17日	Web会議方式	3件	158件	59件
6	9月14日	Web会議方式	5件	177件	40件
7	10月12日	Web会議方式	2件	190件	57件
8	11月16日	Web会議方式	3件	212件	65件
9	12月21日	Web会議方式	4件	199件	85件
10	1月18日	Web会議方式	5件	166件	44件
11	2月15日	Web会議方式	5件	195件	83件
12	3月21日	Web会議方式	5件	213件	75件
計			50件	2,270件	726件

## 5 研究開発等推進事業

国等が実施する支援事業の事業管理機関として、企業、研究機関及び医療機関とコンソーシアムを組み、研究開発等の再委託をするとともに事業管理を行った。

### (1) 戦略的基盤技術高度化支援事業（関東経済産業局）

実施期間	テーマ	企業
4月3日 ～3月31日	極小径金属ステント及び新規生体適合性ゲルを用いた重症リンパ浮腫に対する革新的医療機器の開発	タマチ工業(株)

### (2) 成長型中小企業等研究開発支援事業（関東経済産業局）

実施期間	テーマ	企業
4月3日～ 3月31日	微細脳血管手術マイクロカテーテル用の超極細薄肉 SUS チューブの研究開発	(株)富士精工
4月3日～ 3月31日	無潤滑ダイヤモンド軸受けの研究開発	(株)エイディーディー

## 収 益 事 業

### 収 1 静岡県医療健康産業研究開発センター管理事業

ファルマバレープロジェクトの拠点となる「静岡県医療健康産業研究開発センター」の指定管理業務を行った。入居者に対し、事業支援、施設の維持管理など14項目の指定管理業務についての満足度を調査した結果では、総合平均点が4.48点(前年度4.24点/5点満点)と概ね満足しているとの評価を得た。

#### (1) 施設の管理

①施設警備、設備の保守・点検、清掃、衛生関係、植栽管理等の維持管理業務を行ったほか、入居者からの各種改修要望に対応した。

また、落雷による設備の不具合発生など機器の故障に速やかに対処した。

②安全、危機管理の観点から入居企業・県・委託業者と施設管理会議(定例)を行い、満足度調査結果で4.45点(前年度4.00点)の評価を受けた。

原則、毎月第3木曜日に書面開催

四半期毎(5月、9月、12月及び3月)に集合・Web開催

#### (2) 入居者支援

①施設に入居する企業の研究開発事業に対し、リーディングパートナー企業及びセンター入居のコンサル企業と連携し、企業ごとに、担当するラボマネージャー及びコーディネーターが伴走支援するなど、きめ細かいサポートを実施した。満足度調査の結果では、ラボマネージャー支援4.83点(前年度4.27点)、コーディネーター支援4.30点(前年度4.27点)の評価を受けた。

支援連絡会(集合・Web開催)

開催日	内 容
5月18日	新規入居企業2社からの事業紹介
9月28日	新規入居企業1社からの事業紹介
12月21日	裾野警察署による技術流出防止に向けての講和
3月21日	各入居企業からの年度状況報告

②令和5年4月から公募により決定した2社、7月から既入居企業の一部事業譲渡先となる1社が、新たに入居し研究開発を開始することとなったことから、立ち上がりの支援を行った。

・4月入居企業 : (株)ネクストニュートンズ  
(有)トラス

・7月入居企業 : (株)ジーシー

※オリンパステルモバイオマテリアル(株)から再生医療用  
コラーゲン製品研究開発分野を事業譲渡

### (3) 連携・交流

入居企業間、入居企業と地域企業等との交流を促進するとともに、アイデア創出やマッチングの場を提供するため、施設を活用したセミナー・講演会等を開催した。令和5年度については、満足度が4.10点（前年度3.45点）に高まった。

#### ①製品開発セミナー

開催日	内 容	参加者
10月27日	製品開発革命！AIがもたらすイノベーション 講師：静岡理科大学総合技術研究所 工藤 司 氏	23名

#### ②知的財産権戦略セミナー

開催日	内 容	参加者
3月21日	事業成長と知的財産をテーマとした講演と意見交換会 講師：独立行政法人工業所有権情報・研修館職員	29名

### (4) 貸館

医療健康分野の人材育成や産業振興など、医療機関、企業、産業支援機関等の利用を想定し、広く会議室を貸出した。

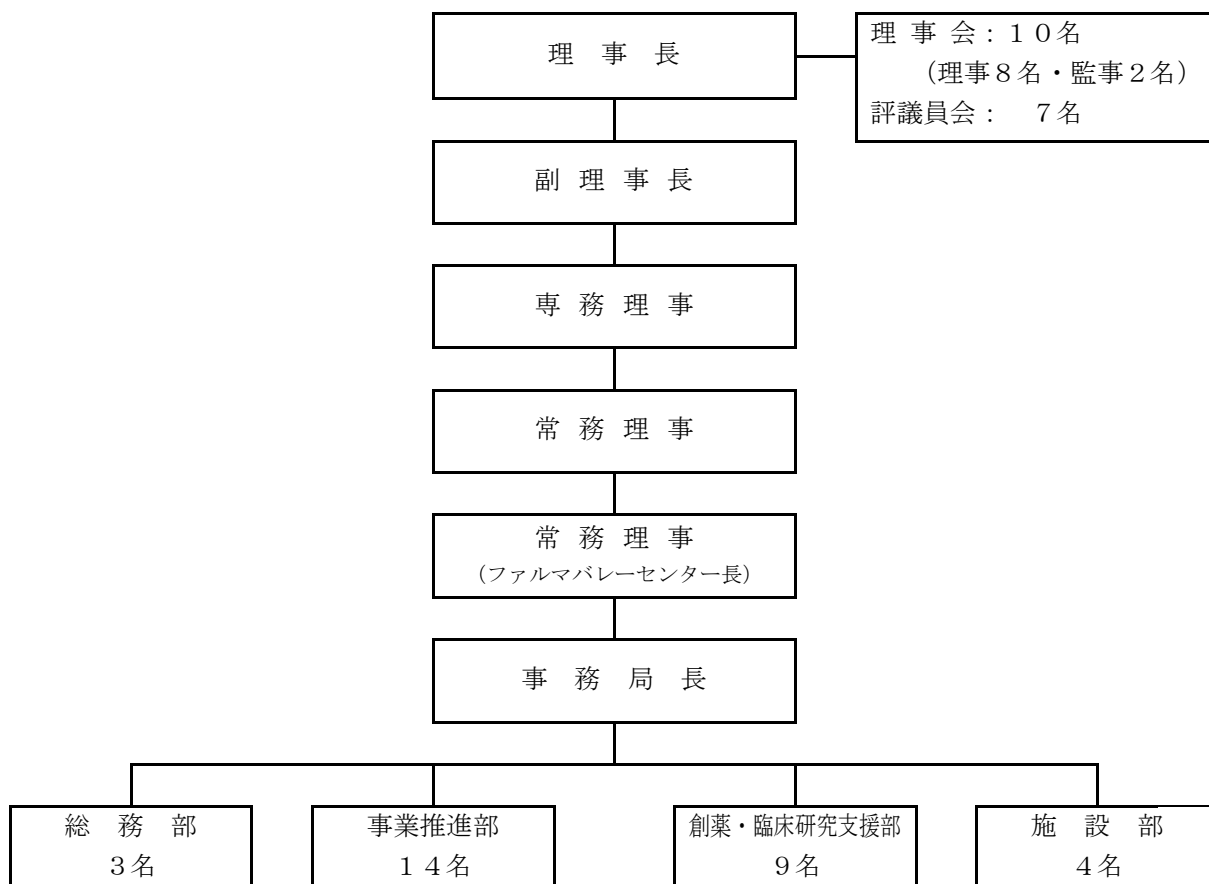
低廉な利用料金、良好なインターネット環境、駐車場の広さなどの利便性の良さが支持を受け一定の利用率につながっている。

利用率

会 場	目標値	令和5年度	令和4年度
会議室	35%	36.2%	36.9%
交流ホール	30%	29.5%	32.4%

## 【参考】

### 組織体制



### 事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第9条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。